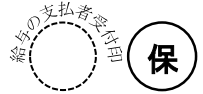


令和元年分給与所得者の保険料控除申告書

所轄税務署長	給与の支払者の 名称(氏名)	※この申告書の提出を受けた給与の支払者(個人を除きます)が記載してください。	(フリガナ) あなたの氏名	◎
税務署長	給与の支払者の 法人番号		あなたの住所 又は居所	
	給与の支払者の 所在地(住所)			



保険会社等の名称	保険等の種類	保険期間又は年金支払期間	保険等の契約者の氏名	保険金等の受取人		あなたが本年中に支払った保険料等の金額(分配を受けた 剰余金等の控除後の金額) (a)	給与の支払者の 確認印	
				氏名	新・旧の区分			
					新	(a)		
					新	(a)		
					新	(a)		
					新	(a)		
(a)のうち 新保険料 等の金額の合計額	A	0	Aの金額を下 の計算式I(新保険料専用) に当てはめて計算した金額	①	(最高40,000円)	0	計(①+②) ③	(最高40,000円) 0
(a)のうち 旧保険料 等の金額の合計額	B	0	Bの金額を下 の計算式II(旧保険料専用) に当てはめて計算した金額	②	(最高50,000円)	0	②と③のいずれか 大きい金額 ④	0
(a)の金額の合計額	C	0	Cの金額を下 の計算式I(新保険料専用) に当てはめて計算した金額	⑤	(最高40,000円)	0	⑤	0
(a)のうち 新保険料 等の金額の合計額	D	0	Dの金額を下 の計算式I(新保険料専用) に当てはめて計算した金額	④	(最高40,000円)	0	計(④+⑤) ⑥	(最高40,000円) 0
(a)のうち 旧保険料 等の金額の合計額	E	0	Eの金額を下 の計算式II(旧保険料専用) に当てはめて計算した金額	⑤	(最高50,000円)	0	⑤と⑥のいずれか 大きい金額 ⑦	0
計算式 I (新保険料専用)※		計算式 II (旧保険料専用)※		生命保険料控除額 計(①+②+③) (最高120,000円)		0		
A,C又はDの金額	控除額の計算式		B又はEの金額	控除額の計算式				
20,000円以下	A、C又はDの全額		25,000円以下	B又はEの全額				
20,001円から40,000円まで	A、C又はD×1/2+10,000円		25,001円から50,000円まで	B又はE×1/2+12,500円				
40,001円から80,000円まで	A、C又はD×1/4+20,000円		50,001円から100,000円まで	B又はE×1/4+25,000円				
80,001円以上	一律に40,000円		100,001円以上	一律に50,000円				

保険会社等の名称	保険等の種類(目的)	保険期間	保険等の対象となった		地震保険料又は旧長期損害保険料の区分	あなたが本年中に支払った保険料等のうち、左欄の区分に係る金額(分配を受けた)	給与の支払者の 確認印
			家屋等に居住又は家財を利用している者等の氏名	あなたとの続柄			
					地震		
					旧長期		
Aのうち地震保険料の金額の合計額						B	0
Aのうち旧長期損害保険料の金額の合計額						C	0
地震保険料控除額	[Bの金額 (最高50,000円) 0]	+	[Cの金額(Cの金額が10,000円を超える場合は、C×1/2+5,000円) ※ (最高15,000円) 0]	=	(最高50,000円)	0	

社会保険の種類	保険料支払先の名称	保険料を負担することになっている人		あなたが本年中に支払った保険料の金額
		氏名	あなたとの続柄	
合計(控除額)				0

種類	あなたが本年中に支払った掛金の金額
独立行政法人中小企業基盤整備機構の共済契約の掛金	
確定拠出年金法に規定する企業型年金加入者掛金	
確定拠出年金法に規定する個人型年金加入者掛金	
心身障害者扶養共済制度に関する契約の掛金	
合計(控除額)	0

◎この申告書の記載に当たっては、裏面の説明をお読みください。

※ 控除額の計算において算出した金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り上げます。